

淀川水系河川整備計画基礎案に係る 具体的な整備内容シートについて

平成18年4月24日
近畿地方整備局

全体一覧表の見方

全体一覧表の見方

【実施 3段階、調査・検討 3段階 計6段階で表示】

該当事務所	進捗状況等	今後の見通し等	進捗状況			備考
			実施		調査・核査	
			A a ☆	B b	C c	
宮川 〔山形県〕	宇治川周辺と福島にて試行中	全出張所へ展開するためにレンジャー活性化と選定基準を検討中	A ☆			宮川管内河川レンジャー基幹組合会(第4回H18.1.24)検討会 18時開会
琵琶湖 〔滋賀県〕	宇摩野駅、住民、河川管理者で構成する河川レンジャー制度検討委員会を設置し、河川レンジャーの選定、制度、支援についての意見は公募法による投票・投票を進めている。 河川レンジャー制度検討委員会の選定特典を交付する河川レンジャー制度を確立する。	平成18年4月から河川レンジャーの試行としての活動を始めたとともに宇摩野駅住民、河川管理者などを講師とする「河川レンジャーアドバイザーコミッショナリ」を設置し、河川レンジャーの育成、運営、支援についての具体的な議論・検討を進めていく。		b		河川レンジャー制度検討委員会
木更津 〔千葉県〕	調査検討中	手渡金の後、翌日金手渡検討会終結		c		
猪名川 〔滋賀県〕	河川レンジャー運営検討会を設立し、試行活動を踏まえて本委員会設立に向けて検討中 運営委員会(運営会)設立済	引き続き試行活動を行い、本委員会設立及び運営委員会の策定を行う。		c		
全務所 〔全国共〕	以下の河川管轄事務所において自治体等と連携し、施策を進めている。 ・松川管轄事務所 ・水郷管轄事務所 ・水郷連絡会 ・河川管轄事務所 ・淀川管轄事務所 ・淀川河川環境監視隊設立委員会 ・淀川河川水質基本計画改定委員会 ・淀川河川水質改定委員会 ・淀川河川運営検討委員会 ・淀川河川運営検討会 ・淀川河川運営検討会 ・淀川河川運営検討会 ・淀川河川運営検討会 ・淀川河川運営検討会 ・淀川河川運営検討会 ・淀川河川運営検討会 ・琵琶湖管轄事務所 ・琵琶湖運営検討会 ・琵琶湖オートハイウェイ運営検討会 ・淀川河川運営の河川利権構造上重要な立場に於ける検討会 ・淀川河川運営の河川利権構造上重要な立場に於ける検討会 ・琵琶湖管轄事務所及び木更津オートハイウェイの利害関係 ・淀川河川運営検討会 ・淀川河川運営検討会 ・琵琶湖管轄事務所 ・琵琶湖運営検討会 ・琵琶湖オートハイウェイ運営検討会 ・琵琶湖管轄事務所	淀川整備計画の実施にあたっては、今後も引き続き、関係自治体等と連携調整しながら取り組んでいく。	A			

該当事務所
及び
担当部会名

シートの内容をイメージしやすいよう、
進捗状況、今後の見通し等各項目
の概略を記載

進捗状況を示しています。

全体一覧表の見方

【実施 3段階、調査・検討 3段階 計6段階で表示】

実施「A」

- 着手しているもの
- 詳細設計を実施しているもの
- 着手の目処(予算措置)が立っているもの

実施「B」

- 予算要求しているもの
- 近々(2, 3年中)予算要求する予定もの
- 概略設計を実施しているもの
- 関係機関と協議中であるが、今後の目処が立っているもの

実施「C」

- 実施を予定しているが着手の目処が立っていないもの
- 関係機関との協議中であるが、方向性が決まっていないもの

調査「a」

- 調査・検討が終了した事業(実施に向けた判断が済みのもの)

調査「b」

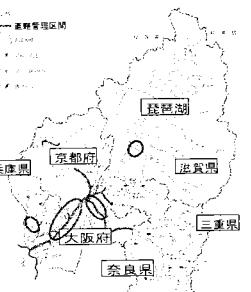
- 調査・検討終了の目処が立っているもの

調査「c」

- 調査・検討終了の目処が立っていないもの
- 調査・検討に着手できていないもの

☆調査・検討から実施に変更

具体的な整備内容シートについて

環境-2		1/3		
基礎案での記載箇所	章項目	5. 2. 1	ページ	p 34 行 31行目
事業名	横断方向の河川形状の修復	河川名		
府 県	市町村	地先		
●現状の課題 これまでの河川整備により模索してきた堤防や高水敷、単純な形状の低水流路等によって、河川形状が横断方向(水堀～高水敷、堤防～河川区域外)に連続性が分断されているところがある。				
●位置図  ●具体的な整備内容 1) 水陸移行帯の保全・再生を図るために、横断方向において、堤防の緩傾斜化や高水敷から水辺への形状をならしにすための高水敷の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水陸移行帯等、良好な水辺の保全・再生を図るため、水際の改善を行う。湖と河川や陸域との移行帯についてもなだらかな連続的移行を目指す。 2) 横断方向の河川形状の修復について検討する。 ①淀川 庭瀬地区 ②淀川 楠葉地区 ③淀川 牧野地区 ④淀川 鶴殿地区 ⑤淀川 赤川地区 ⑥木津川 上津屋地区 ⑦淀川 海老江地区 ⑧淀川 西中島地区 ⑨木津川 下津屋地区 ⑩淀川 大淀地区				

今回提示している具体的な整備内容シートは、平成18年3月22日時点で修正したものです。

具体的には、基礎案第5章の項目立てに沿って、49の大項目に分類、さらに大項目を237の個別事業毎に分類し、シートを作成しました。

○○-1 大項目番号

○○-1-1 小項目番号

大項目の具体的な整備内容シートの例

環境-2		1/3	
基礎案での記載箇所		章項目	5. 2. 1 ページ p 34 行 31行目
事業名	横断方向の河川形状の修復	河川名	
府 県	市町村	地先	
<p>●現状の課題 これまでの河川整備により構築してきた堤防や高水敷、単純な形状の低水流路等によって、河川形状が横断方向(水端～高水敷・堤防～河川区域外)に連続性が分断されているところがある。</p>			
<p>●河川整備の方針 横断方向において、堤防の緩傾斜化や高水敷から水辺への形状をならかにするための高水敷の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水陸移行帯等、良好な水辺の保全・再生を図るため、水源の改善を行う。湖と河川や河岸との移行帯についてもしならかな連続的移行を目指す。</p>			
<p>●位置図</p> <p>The map illustrates the geographical context of the river restoration project. It shows the outlines of Kyoto, Osaka, and Hyogo Prefectures, along with the locations of Lake Biwa, Lake Hamana, and Lake Suwa. Specific areas of interest are highlighted with circles and labeled as '重點整備区域' (Key Restoration Areas). These include the northern part of Kyoto Prefecture, the northern part of Osaka Prefecture, and the northern part of Hyogo Prefecture.</p>			
<p>●具体的な整備内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 水陸移行帯の保全・再生を図るために、横断方向の河川形状の修復を行う。なお、堤防強化対策等を実施する場合も、河川形状の修復を踏まえて行う。 ①淀川 麻生地区 ②淀川 楠葉地区 ③淀川 牧野地区 ④淀川 鶴勝地区 ⑤淀川 赤川地区 ⑥木津川 上津屋地区 ⑦淀川 海老江地区 ⑧淀川 西中島地区 ⑨木津川 下津屋地区 <ol style="list-style-type: none"> 2) 横断方向の河川形状の修復について検討する。 ①淀川 唐崎地区(芥川合流部) ②淀川 水無瀬地区 ③淀川 新島地区 ④野洲川 河口部(河口砂州を含む) ⑤猪名川 下加茂地区 ⑥猪名川 下河原地区 ⑦淀川 大淀地区 			
<p>環境-2</p> <p>●平面図</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 横断方向の河川形状の修復を実施 ○ 横断方向の河川形状の修復を検討 <p>※円内の番号は具体的な整備内容を参照。</p>			

小項目の具体的な整備内容シートの例

環境一-2-1	1/34	環境一-2-1	2/34
■具体的な整備内容 堤防前面の高水敷切り下げ、緩傾斜化、既存ワンド群の整備を実施する。	●スケジュール 実施者：荒地 委託先：深川環境委員会 H15 H17 H19 H21 H23 H25 H16.4 H16.8 H16.12 H17.4 H17.8 H17.12 H18.4 	●提案理由(代替案含む) 1. 既存の決定理由 ワンド内のドロ等の堆積により水環境の悪化が著しいため復能回復が必要であるが、堤防洗浄の事業追跡とあわせて既存ワンド形状修復を実施する事が可能となり、深川下流のワンド群として機能することができる。 2. 具体的整備手法 	
●検討・実施内容 -上流側ワンドの沖出し等による形状改善面積: 約0.6ha			
●事業費 ・全体事業費 約6.0億円 ・うち執行済 0.0 円 ・うち整備計画期間内 約6.0億円 ・うち整備計画期間以降 0.0 円			
●概要			
庭瀬地区整備イメージ図			
緩傾斜堤防施工断面			
庭瀬地区 堤防強化断面図			
●整備効果 -高水敷切り下げによる河岸の緩傾斜化と、浅水域・たまりの削除、横断方向の連続性を恢復する。また、河岸の緩傾斜化は水塊・陸域の横断方向の生態的回復の役割を果たし、豊かで多様性に富んだ深川の生物環境の回復となる。 -高水敷切り下げと堤防強化を同時にを行うことで事業が経済的である。			